

平成28年度 立川市子ども委員会活動報告『川をきれいに』部会

私たちは、立川市の身近にある川がもっときれいになれば、親しみがわくのではないかと考え、『川をきれいに』をテーマに活動してきました。

◇自分たちの考える理想の川

- ・川あそびができるきれいな川
- ・生き物が住みやすい川
- ・木や花がたくさんある川

◇なぜ川が汚いと感じるのか

川の水質が良くないから、川を汚いと感じるのだと考えていましたが、川について調べていくと、川の水を汚していると考えられる生活用水や工場の排水は、立川市では、下水処理場できれいな水にしてから川に流していることがわかりました。川の水だけではなく、川の周りの環境や景色も大切だということに気が付きました。環境や景色（景観）が良くしていくことが必要だと感じました。

◇景観について

立川市まちづくり部都市計画課の方をアドバイザーとして招き、様々なお話を伺いました。立川市の景観を良くするために、街灯を優しい色に変えたり、人が心地良いと感じるように緑や花を配置したりするなど様々な取り組みをされているようです。

伺った話を基に、自分達が景観を良くするために、イベントやプロジェクトを行うことが必要ではないかと考えました。

◇川の景観の実地検分（根川、残堀川、多摩川）

- ・**根川**：下水処理場できれいにした水が流れる人工の川です。川には、カモやメダカなど様々な生き物がいました。川に沿って根川緑道があり、木や草花が植えられていて、歩いていて気持ちが良いと感じました。緑道には、散歩されている方や絵を描いている方などがいました。
- ・**残堀川**：眺めるとシラサギやカメ、鯉などがいました。下に降りてみると、水は澄んでいて、足を入れたくなるほどでした。人は見あたりませんでした。
- ・**多摩川**：根川、残堀川も最後は多摩川に合流します。とても広く大きな川で、サイクリングや釣りをしている方がいました。眺めも良く、木や草が広がっていてとても気持ち良かったです。しかし、水面を良く見ると、油が浮いていたり、草むらに釣り糸やペットボトルなどゴミが捨てられていました。



写真左) 残堀川での様子



写真右) 多摩川の様子

◇川の景観についてアンケートの実施

川の景観について、自分達の身近な人と、市内児童館の協力を仰ぎ、アンケートを実施しました。

• 立川の川を知っていますか？

→多摩川や玉川上水など、大きな川はみんな知っていましたが、残堀川や根川は知っている人が少なかったです。

• 立川の川が好きですか？

→半数の人が好きと答えていました。その理由として「生き物や自然とふれあえるから」という回答が多かったです。

好きではないと答えた人は「汚いから」という意見が多かったです。また、身近に川が無く「行った事がないからわからない」という意見も多くありました。

• 『景観』という言葉を知っていますか？

→半数以上が『知らない』と答えていました。

• 立川市で好きな景観はどこですか？

→昭和記念公園や玉川上水など有名な公園や川が多かったです。

アンケートの結果より、身近に川がある地域では、様子が分かりきれいだと認識しているが、身近に川がない地域では、様子が分からない、行ったことがない人が多いことが分かりました。

川に関心を持っているかどうかは地域ごとに違うこと、好き嫌いの判断も難しいことが分かりました。

◇川への関心を高めるためのプロジェクト

BRP…ビューティフル・リバー・プロジェクト 日本語で「美しい川計画」です。

◇活動内容

• 川や川の景観について啓発活動

新聞やポスターを作成し、配布することでより多くの人に伝えることができます。

• 様々なイベントの実施

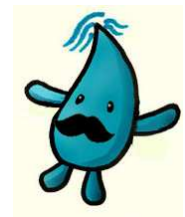
河原でのスタンプラリーやゴミ拾い大会、季節に合わせた植樹などのイベントを実施し、参加する事により、川を身近に感じ、意識が高まります。景観が良くなると、川の生き物が住みやすくなり、自然を守ることに繋がっていきます。

◇BRPのキャラクター作成

活動に親しみを持つためには、キャラクターが必要ではないかと考え、作りました。

• チョビひげ先生

チョコビひげ先生は川のことなら何でも知っていて、弟子のリバーくんにも色々教えてくれます。ひげは川を表し、頭の帽子は、きれいになると様々なものが住みやすい川（家）の象徴として、家の形になっています。



絵左) チョビひげ先生 絵右) リバーくん

• リバーくん

チョコビひげ先生の弟子です。体は、水のしずくを表し、チョコビひげ先生の弟子なので見習ってちょびひげをつけています。

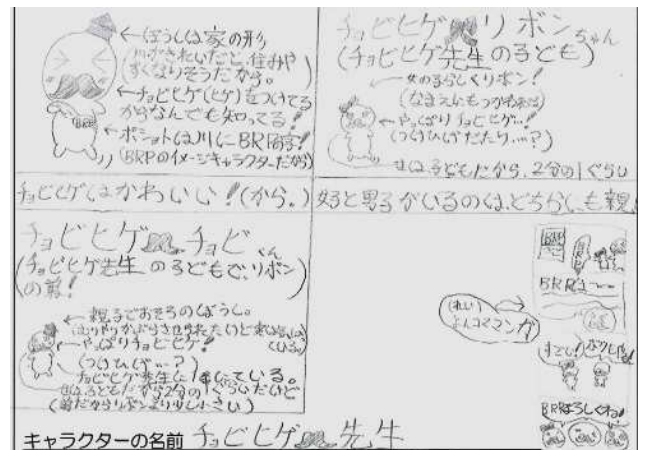


写真) キャラクター作成時、説明の様子

◇BRP 活動をしていくことで

立川市の川を親しみやすく、誰が見ても気持ちが良い川にしていくことで、もっとたくさんの方が立川を好きになると考えます。

私たちは、子ども委員会として立川市に2つの提案をします。

～提案～

1. 川についての新聞やポスターの作成
(川や川の景観についての啓発活動)
2. 川を身近に感じられるイベントの実施
(スタンプラリー、ゴミ拾い大会、植樹など)

以上